

きよみづ

清水へ



字余り

※五・七・五・七・七よりも文字数が多いこと

ぎをん

祇園をよぎる

さくづきよ

三句切れ

※句切れとは意味の切れ目

イあウ

こよひ逢ふ人



みなうつくしき

おぼろ月夜と桜を合わせた  
ことば

与謝野晶子

『みだれ髪』

清水に行こうと

祇園を通り過ぎると、おぼろ朧月夜に桜が咲き誇っている。

今夜すれちがう人々は、

みんな美しく見える。

ズ

ゴギョウ

せりなずな

ごぎやうはごべら

ほとけのぎ

すずな

すずしろ

これぞ七草

一月七日はひなつひ人日の節句といひ七草がゆを食べる風習があります。

### 春の行事

じよし上巳の節句・・・三月三日。桃の節句ともいう。ひな人形をかざる風習がある

春分・・・三月二十一日頃。昼と夜の長さがほぼ同じ長さになる日